

平成 29 年度 優秀論文表彰式

2018 年 3 月 27 日、卒業式終了後に、レストラン「スクエア」で経済学部卒業記念パーティ（経和会・埼玉大学経済学会後援）が開催され、会場で優秀論文 3 本と最優秀論文の表彰が行われ、賞状と副賞が授与されました。



左から 2 人目が最優秀論文を受賞した佐藤さん、右から 2 人目が星野経和会長

最優秀論文

佐藤寛空（今泉ゼミ）

「首都圏の大学生のパーソナルネットワーク」

本論文は、自宅から通学する大学生のパーソナルネットワークについて、アンケートとインタビューにもとづいて考察したものです。自宅通学の学生が高校までの地元の交友関係を維持する傾向がないことを明らかにし、その背後にある学生自身の交友関係の維持・放棄に係る裁量性に着目したユニークな研究であることが高く評価されました。

優秀論文

岩崎風音（内田ゼミ）

「非営利団体による Airbnb 「社会貢献」 体験の初動期における運営実態とその効果」

本論文は、Airbnb が開始した社会貢献プログラムを研究対象として、実際に体験した社会貢献プログラム9本の比較分析を行ったものです。ヒアリングやアンケート調査を実施したこと、および新しいテーマに挑んだことが評価されました。

後藤大地 （結城ゼミ）

「金融化の再定義—非金融部門による銀行部門の独立としての金融化」

本論文は、「金融化」という概念の定義を考察したもので、代表的な先行研究にみられる金融化のロジックを比較し、共通点や相違点を析出することで、1970年代以降の資本主義の変容を検討したものです。大きなテーマに挑んだ力作であると評価されました。

辻本圭佑 （大石ゼミ）

「多様化するキャラクター・ビジネスの再考 —キャラクター活用の最大・最適化のために—」

本論文は、キャラクター・ビジネスを対象として、キャラクターの「ライフサイクル」仮説をベースに、キャラクター・ビジネスを類型化し、多様化するビジネスの新たな展開を独自に解釈したものです。丁寧な論証と斬新かつ論理的に明快な考察が評価されました。